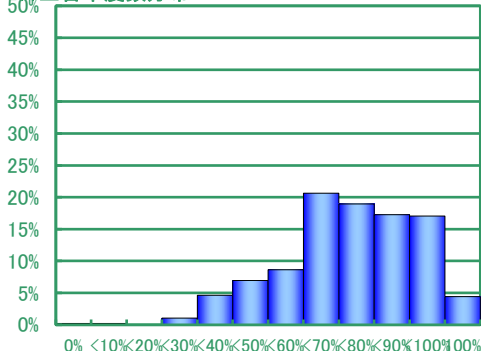


各学年・各教科における度数分布

<小学校1年>

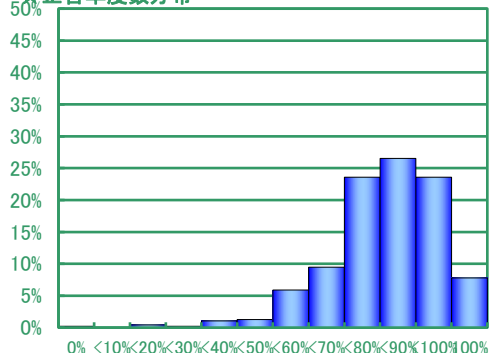
国語

★正答率度数分布



算数

★正答率度数分布



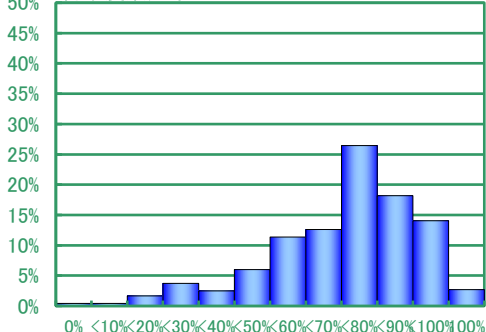
国語・・・全国平均(72.3)あたりの層が多くなっている。50%未満の層が一定程度見られる。

算数・・・80%以上の上位層が多いが、50%未満未満の層が若干見られる。

<小学校2年>

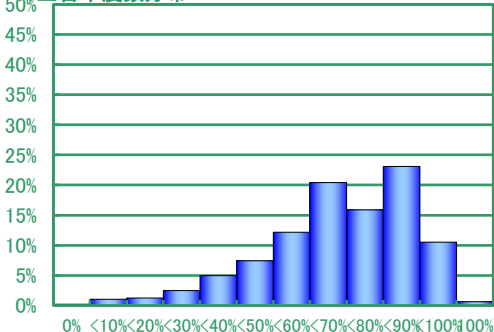
国語

★正答率度数分布



算数

★正答率度数分布



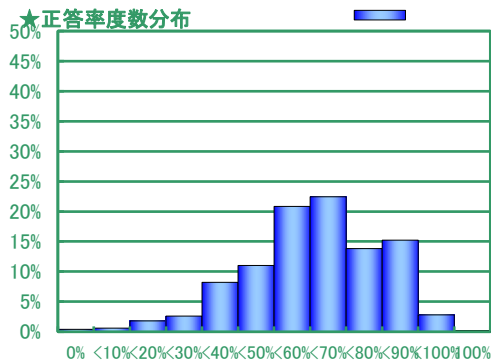
国語・・・全国平均(75.6)あたりの層が多くなっているが、30%未満の下位層が一定程度見られる。

算数・・・80%以上90%未満の層、60%以上70%未満の層が多く、でこぼこした分布である。30%未満の下位層が一定程度見られる。

<小学校3年>

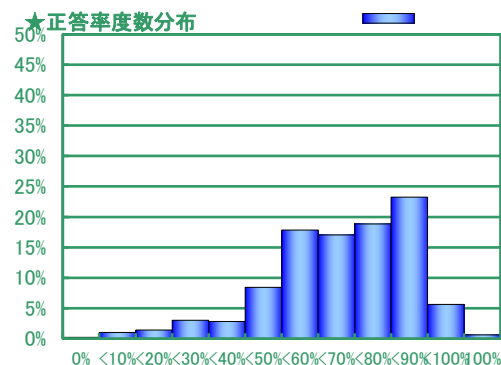
国語

★正答率度数分布



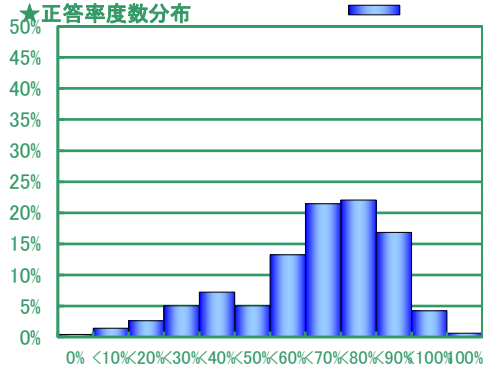
算数

★正答率度数分布



理科

★正答率度数分布



国語・・・上位層が少なく、50%以上70%未満の層が多くなっている。30%未満の下位層が一定程度見られる。

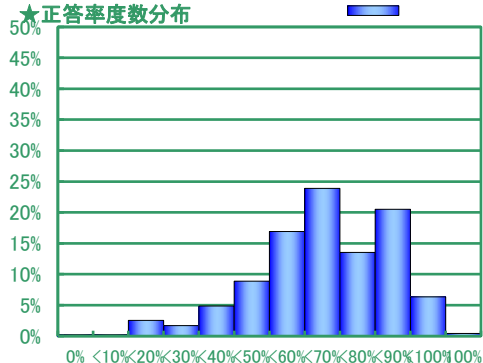
算数・・・80%以上の上位層が多いが、30%未満の下位層も一定程度見られる。

理科・・・中位層が多く見られる一方、30%未満の下位層が多くなっている。

<小学校4年>

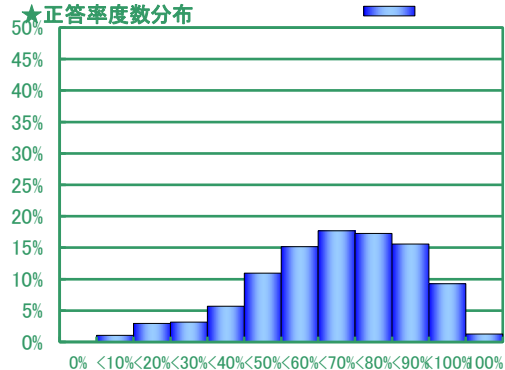
国語

★正答率度数分布



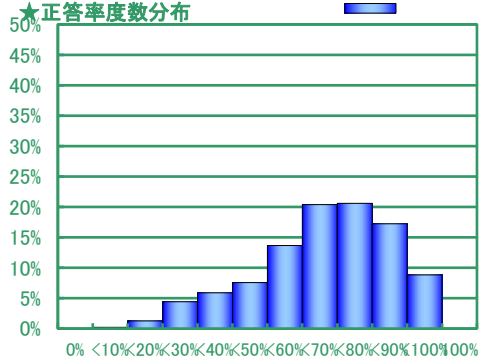
算数

★正答率度数分布



理科

★正答率度数分布



国語・・・80%以上90%未満の層、60%以上70%未満の層が多く、でこぼこした分布である。30%以下の下位層が一定程度見られる。

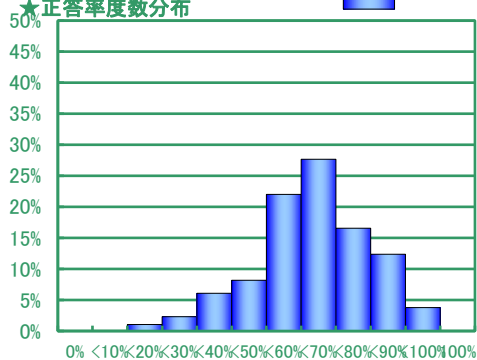
算数・・・上位層が少ないならかな分布である。30%未満の下位層が多くなっている。

理科・・・上位層が少ないならかな分布である。30%未満の下位層が多くなっている。

<小学校5年>

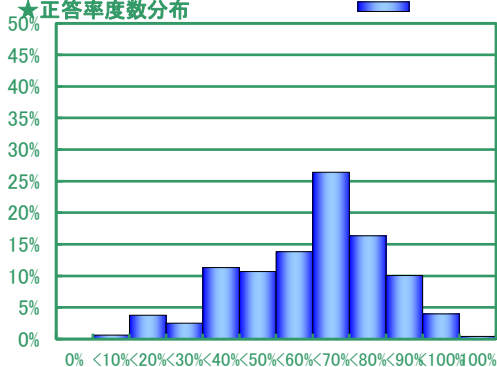
国語

★正答率度数分布



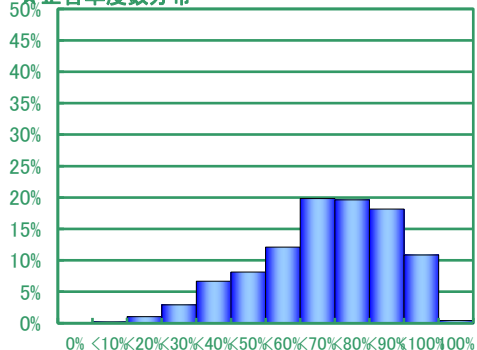
算数

★正答率度数分布



理科

★正答率度数分布



国語・・・60%以上70%未満の中位層が多くなっている。30%未満の下位層が一定程度見られる。

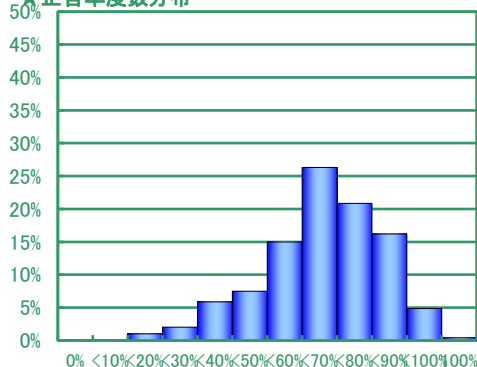
算数・・・60%以上70%未満の中位層が多く、上位層が少ない。30%未満の下位層が多くなっている。

理科・・・中位層が多いなだらかな分布である。30%未満の下位層が一定程度見られる。

<小学校6年>

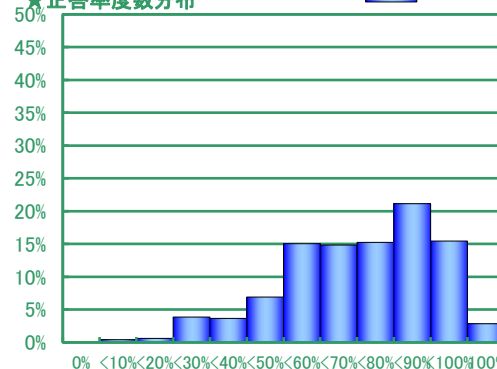
国語

★正答率度数分布



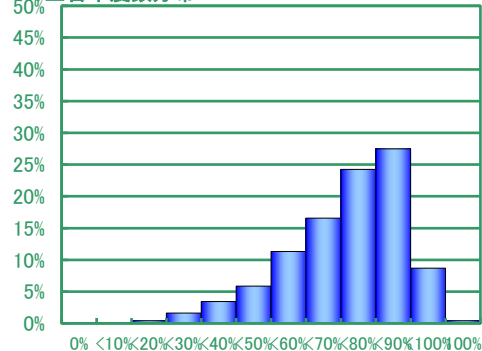
算数

★正答率度数分布



理科

★正答率度数分布



国語・・・60%以上70%未満の中位層が多く見られる。30%以下の下位層が一定程度見られる。

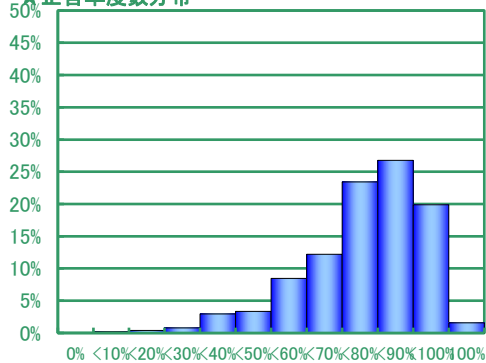
算数・・・全体的になだらかな分布である。30%未満の下位層が多くなっている。

理科・・・80%以上90%未満の上位層が多くなったが、30%未満の下位層も一定程度見られる。

<中学校1年>

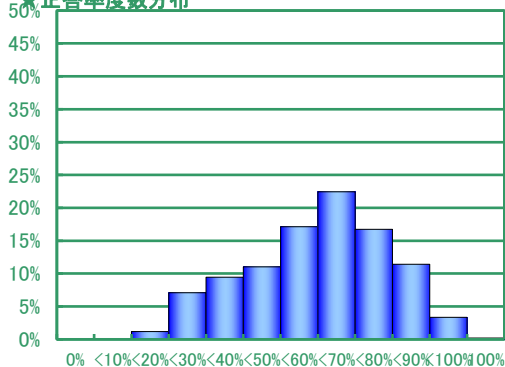
国語

★正答率度数分布



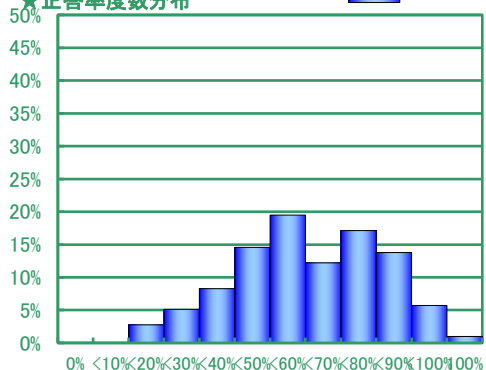
社会

★正答率度数分布



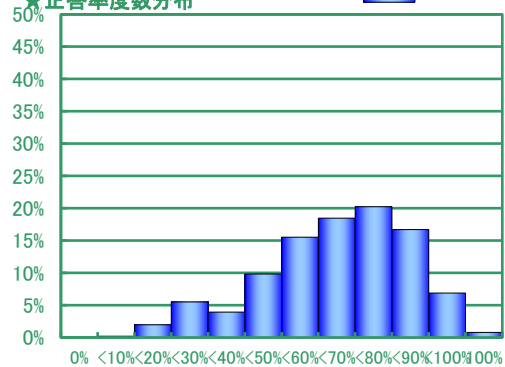
数学

★正答率度数分布



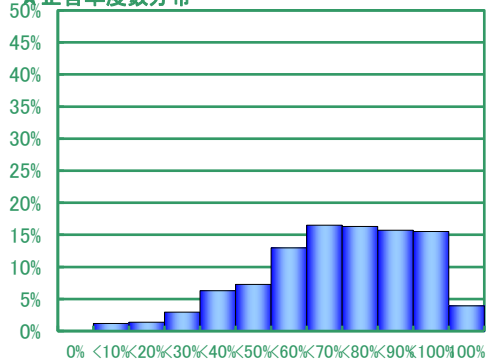
理科

★正答率度数分布



英語

★正答率度数分布



国語・・・80%以上の上位層が多く見られ、30%以下の下位層は少ない。

社会・・・60%以上70%未満の中位層が多く見られる。30%未満の下位層が多くなっている。

数学・・・70%以上80%未満の層、50%以60%未満の層が多く、でこぼこした分布である。
30%未満の下位層が多くなっている。

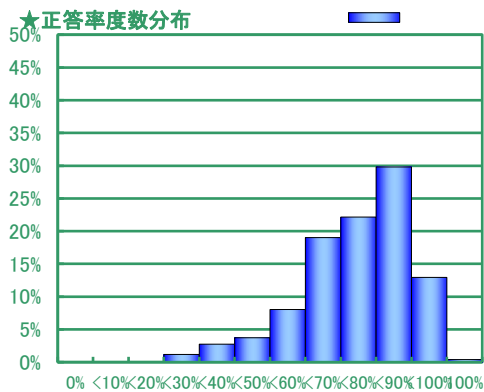
理科・・・70%以上の層が多く見られる一方、30%未満の下位層が多くなっている。

英語・・・80%以上の上位層が多く見られる一方、30%以下の下位層が一定程度見られる。

<中学校2年>

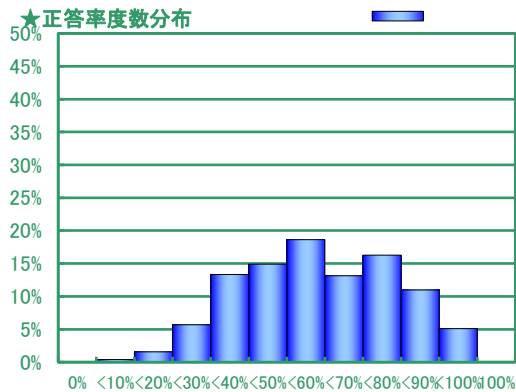
国語

★正答率度数分布



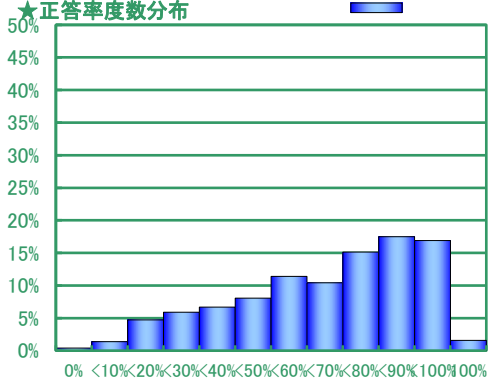
社会

★正答率度数分布



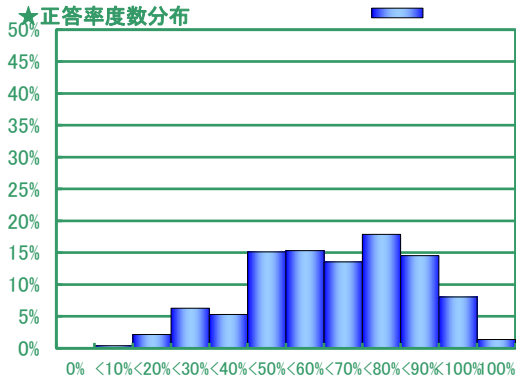
数学

★正答率度数分布



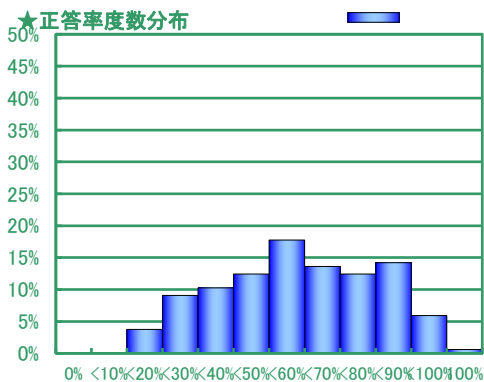
理科

★正答率度数分布



英語

★正答率度数分布



国語…80%以上の上位層が多く見られ、30%以下の下位層は少ない。

社会…70%以上80%未満の層、50%以上60%未満の層が多く、でこぼこした分布である。
30%未満の下位層が多くなっている。

数学…80%以上の上位層が多く見られる一方、30%未満の下位層が多くなっている。

理科…40%以上60%未満の層、70%以上80%未満の層が多い若干でこぼこした分布になった。30%未満の下位層が多くなっている。

英語…80%以上90%未満の層、50%以上60%未満の層が多く、でこぼこした分布である。
30%未満の下位層が多くなっている。

令和2年度佐伯市学力定着状況調査結果総括＜小学校1年＞

国語				問題の内容別正答率		佐伯市	目標値	全国平均
教科の正答率	全体	72.8	71.3	72.3		佐伯市	目標値	全国平均
	基礎	84.0	80.7	83.9	はなしをききとる	83.6	81.7	84.8
	活用	51.6	53.8	50.6	かん字をよむ	95.8	90.0	93.9
領域別正答率	言葉の特徴や使い方	91.7	85.6	91.4	ことばの学しゅう	80.4	76.7	81.0
	情報の扱い方	36.2	45.0	36.0	ものがたりをよみとる	60.8	60.0	58.2
	話すこと・聞くこと	71.6	69.0	71.3	せつめい文をよみとる	52.4	55.0	49.5
	書くこと	68.7	73.3	71.9	きいたこときもとにほなしをする	53.6	50.0	51.0
	読むこと	56.6	57.5	53.9	文しゅうをかく	68.7	73.3	71.9

＜結果概況＞

○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を上回った。

○領域別正答率は、「書くこと」のみ、全国平均を下回った。他の領域は全て上回った。

＜課題と対策＞

○問題の内容別に全国平均と比較すると、「はなしをききとる」「ことばの学しゅう」「文しゅうをかく」で、全国平均を下回った。日常生活において、話の内容についての丁寧な問答を重視するとともに、必要に応じて聞き取った内容を書かせたり、内容についての自分の考えを表現させたりする場を意図的に設定する必要がある。

また、経験したことをもとに、自分の思いや考えを添えて、一定の文字数で書く活動を継続して取り入れ、「書く力」を付けていく必要がある。さらに、朝読書等で長い文章を読むことにも慣れ親しませる必要がある。

算数				問題の内容別正答率		佐伯市	目標値	全国平均
教科の正答率	全体	81.2	78.8	80.3		佐伯市	目標値	全国平均
	基礎	86.9	84.3	86.5	20までのかず	86.0	84.3	85.1
	活用	59.6	58.1	57.2	たしざん	82.8	80.9	82.9
領域別正答率	数と計算	79.9	77.7	79.0	ひきざん	67.3	65.5	65.1
	図形	88.4	86.7	88.3	3つのかずのけいさん	92.6	87.5	92.2
	測定	87.4	83.3	86.4	かたち	88.4	86.7	88.3
					ながさ・かさ	91.6	90.0	91.4
					なんじなんじはん	85.3	80.0	83.9

＜結果概況＞

○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を上回った。

○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を上回った。

＜課題と対策＞

○問題の内容別に全国平均と比較すると、「たしざん」のみ、全国平均を下回った。

計算の基礎技能については、広く活用する内容であるので、児童のつまずきを理解した上での支援を重視するとともに、学習したことを定着させるための機会を、意図的・計画的に設定する必要がある。

また、問題場面から必要な情報を取り出して答えたり、式や絵などの与えられた情報から作問したりする活動を充実させる必要がある。

令和2年度佐伯市学力定着状況調査結果総括＜小学校2年＞

国語				問題の内容別正答率		佐伯市	目標値	全国平均
教科の正答率	全体	70.3	75.2	75.6		佐伯市	目標値	全国平均
	基礎	79.7	83.0	84.1	話を聞き取る	79.6	83.3	85.9
	活用	54.7	62.2	61.4	漢字を読む	87.2	86.7	90.9
領域別正答率	言葉の特徴や使い方	83.0	85.6	87.7	漢字を書く	85.1	90.0	92.7
	情報の扱い方	67.0	67.5	69.3	言葉の学習	75.2	77.5	78.0
	話すこと・聞くこと	62.2	68.0	68.2	物語を読み取る	51.4	58.3	53.6
	書くこと	60.1	75.0	73.3	説明文を読み取る	74.7	75.0	76.4
	読むこと	63.1	66.7	65.0	メモをもとに発表する	36.1	45.0	41.8
					文章を書く	60.1	75.0	73.3

＜結果概況＞

○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を下回った。

○領域別正答率は、全ての領域において全国平均を下回った。特に「書くこと」の領域では13. 2ポイントの差がある。

＜課題と対策＞

○問題の内容別に全国平均と比較すると、「文章を書く」問題で正答率に13. 2ポイントの差がある。「文章を書く」問題は18. 8%の児童が無解答であったことから、生活科や日常の活動と結びつけて書く経験を積ませる必要がある。

また、「事柄の順序を考え話す」問題も無解答率が22. 1%と高かった。各教科の学習の中で書く活動とともに話して表現する楽しさを味わわせるとともに、目的をもって話す機会を意図的に設定し評価していきたい。

算数				問題の内容別正答率		佐伯市	目標値	全国平均
教科の正答率	全体	67.5	72.4	73.9		佐伯市	目標値	全国平均
	基礎	75.1	79.4	81.7	1000までの数	81.0	85.7	86.9
	活用	41.9	48.8	47.9	たし算	69.7	75.8	77.6
領域別正答率	数と計算	71.7	77.2	78.8	ひき算	54.2	63.6	63.3
	測定	56.9	60.5	61.9	かけ算	85.7	86.0	90.5
					長さ・かさ	56.8	59.3	60.6
					時刻と時間	57.3	63.3	64.9

＜結果概況＞

○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を下回った。

○領域別正答率は、「数と計算」「測定」の領域ともに全国平均を下回った。特に「数と計算」の領域では7. 1ポイントの差がある。

＜課題と対策＞

○問題の内容別に全国平均と比較すると、「ひき算」の問題で正答率に9. 1ポイントの差がある。「繰り下がりが2回」、「波及的繰り下がりが」の問題を解いたり、文章問題から図に表し立式する活動を繰り返したりする等、日常授業とつなげた練習問題での習熟が必要になる。

また、「おつりが少なくなる場合の説明」の問題で無解答率が23. 7%と高くなっていることから、算数と生活を結びつけた数学的活動の場を設定し、表現活動を仕組んでいきたい。

令和2年度佐伯市学力定着状況調査結果総括＜小学校3年＞

国語				佐伯市	目標値	全国平均				
教科 の 正 答 率	全体	60.8	62.7	63.0	問題 の 内 容 別 正 答 率	話し合いの内 よう聞き取る	84.2	83.3	84.8	＜結果概況＞ ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を下回った。 ○領域別正答率は、「読むこと」のみ、全国平均を上回った。他の4つの領域 は、全て全国平均を下回った。
	基礎	67.8	67.9	68.9		漢字を読む	88.4	83.3	87.8	
	活用	47.6	52.8	51.8		漢字を書く	78.0	73.3	76.2	
領域 別 正 答 率	言葉の特徴や使い 方	71.5	70.0	72.3		言葉の学習	58.0	59.0	60.5	＜課題と対策＞ ○問題の内容別に全国平均と比較すると、8つの内容のうち5つの内容で、全 国平均を下回った。特に「文章を書く」では、10.8ポイント下回った。 「言葉の学習」については、学習したことを定着させるための機会を、意図的・ 計画的に設定する必要がある。 「文章を書く」では、4人に1人が無解答のため、与えられた条件(段落構成、段 落ごとに指定された内容等)に沿って書く活動や、自分の考えを書く活動を、他 教科等を含めた多様な機会を捉えて設定し、児童実態に合わせて段階的に指 導していく必要がある。
	情報の扱い方	46.0	51.7	50.4		物語の内ようを読み取る	57.0	55.0	58.1	
	話すこと・聞くこと	71.8	73.8	72.7		せつ明文の内 ようを読み取る	49.9	51.7	48.2	
	書くこと	36.6	50.0	46.6		インタビューに 向けてじゅんぴ をする	31.4	42.5	35.8	
	読むこと	53.5	53.3	53.2		文章を書く	38.7	52.5	49.5	

算数		佐伯市	目標値	全国平均				
教科 の 正 答 率	全体	66.1	67.2	68.0	10000より大きい数	74.8	71.3	71.7
	基礎	75.7	75.3	76.1	たし算・ひき算	78.6	80.0	80.0
領域 別 正 答 率	活用	50.1	53.8	54.6	かけ算	57.6	60.0	61.0
	数と計算	64.4	65.7	66.2	わり算	61.5	64.4	64.6
	図形	67.5	68.3	70.2	円と球	67.5	68.3	70.2
	測定	70.0	70.6	71.9	長さ・重さ	74.3	73.8	75.3
					時こくと時間	65.8	67.5	68.6

問題の内容別正答率

<結果概況>
○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を下回った。
○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を下回った。

<課題と対策>
○問題の内容別に全国平均と比較すると、7つの内容のうち6つの内容で、全国平均を下回った。
全ての内容において、学習したことを定着させるための機会を、意図的・計画的に設定する必要がある。
また、言葉や数、式を使って自分の考えを書いたり説明したりする機会や、類似の問題に触れる場を、授業や家庭学習等の中でさらに充実させる必要がある。

理科				佐伯市	目標値	全国平均	問題の内容別正答率 ＜結果概況＞ ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を下回った。 ○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を下回った。 ＜課題と対策＞ ○問題の内容別に全国平均と比較すると、全ての内容で、全国平均を下回った。 学習したことを定着させるための機会を、意図的・計画的に設定する必要がある。 また、実物の観察や実験等の機会を増やすとともに、児童の生活とも関連させながら、実感を伴った理解へと結びつける工夫が必要である。さらに、観察、実験の結果をカードや表に整理し、比較したり関係づけたりして、児童自らが考察し説明するような学習を充実させる必要がある。		
教科の正答率 領域別正答率	全体	63.1	65.7	67.1	身近なしぜんのかんさつ	66.6		67.5	70.1
	基礎	66.8	68.8	70.1	植物の育ち方	67.7		67.5	70.5
	活用	53.8	58.1	59.5	こん虫の育ち方	62.7		67.5	67.5
	物質・エネルギー	67.5	68.3	69.1	こん虫のからだのつくり	69.1		75.0	76.4
	生命・地球	61.9	65.0	66.6	太陽と地面のようす	52.3		56.4	57.5
					光のせいしつ	78.2		78.3	79.2
					風やゴムのはたらき	56.8		58.3	58.9

令和2年度佐伯市学力定着状況調査結果総括＜小学校4年＞

国語				問題の内容別正答率		佐伯市	目標値	全国平均
教科の正答率	全体	64.8	64.8	66.5		佐伯市	目標値	全国平均
	基礎	68.4	68.9	69.8	話し合いの内容を聞き取る	73.2	71.7	76.7
	活用	56.5	55.6	59.2	漢字を読む	91.7	90.0	91.5
領域別正答率	言葉の特徴や使い方	76.3	74.0	76.5	漢字を書く	70.7	70.0	71.5
	情報の扱い方	50.6	50.0	52.5	言葉の学習	75.5	71.0	76.1
	我が国の言語文化	89.4	85.0	88.8	物語の内容を読み取る	57.3	60.0	58.5
	話こと・聞くこと	59.1	59.0	62.5	説明文の内容を読み取る	44.3	50.0	49.0
	書くこと	54.7	56.3	56.4	調べたことを発表する	37.9	40.0	41.1
	読むこと	50.8	55.0	53.7	文章を書く	54.7	56.3	56.4

＜結果概況＞

○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を下回った。

○領域別正答率は「我が国の言語文化に関する事項」は全国平均を上回ったが、他の領域は全国平均を下回った。

＜課題と対策＞

○問題の内容別に全国平均と比較すると、全国平均と大きな差がある内容はない。しかし、「情報と情報との関係を捉えた上で表現する」問題での正答率が低くなった。取り入れた情報が何を表しているのか、前後のつながりはどうなっているのか等を考える学習を意図的に仕組んでいきたい。

また、「文章を書く」内容の問題では、「段落を構成する・事実を伝える・自分の考えを書く」という条件を捉えられていなかった児童が多かった。日常的に条件を設定した文章を書く経験を積ませたい。

算数				問題の内容別正答率		佐伯市	目標値	全国平均
教科の正答率	全体	64.2	62.7	63.3		佐伯市	目標値	全国平均
	基礎	69.6	68.6	69.4	億と兆・概数の表し方	75.5	78.0	77.8
	活用	54.0	51.4	51.7	わり算	59.5	56.7	55.0
領域別正答率	数と計算	69.4	67.6	67.8	小数	74.6	71.3	74.2
	図形	61.4	60.8	62.0	計算のきまり	71.6	67.5	68.2
	変化と関係	69.8	63.3	68.6	垂直・平行と四角形	48.5	50.0	50.7
	データの活用	39.7	41.3	40.2	角の大きさ	74.2	71.7	73.3
					簡単な場合についての割合	69.8	63.3	68.6
					折れ線グラフ	39.7	41.3	40.2

＜結果概況＞

○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を上回った。

○領域別正答率は、「数と計算」「変化と関係」で全国平均を上回ったが、「図形」「データの活用」では1ポイント弱全国平均を下回った。

＜課題と対策＞

○問題の内容別に全国平均と比較すると「わり算」「小数」「計算のきまり」「角の大きさ」「簡単な場合についての割合」で全国平均を上回って学習の成果が出たといえる。他の内容も2ポイント以下の差であることから全国との開きは小さい。

しかし、「グラフの読み取りから予想が正しくない理由を説明する」問題は、正答率が低く、無解答も30.1%と高かった。説明の順序の理解も含めた学習を意図的に取り入れる必要がある。

理科				問題の内容別正答率		佐伯市	目標値	全国平均
教科の正答率	全体	64.1	66.0	68.1		佐伯市	目標値	全国平均
	基礎	67.6	68.8	71.3	1年間の植物の成長	67.7	67.5	71.4
	活用	56.0	59.4	60.4	1年間の動物の様子	68.4	75.0	77.5
領域別正答率	物質・エネルギー	61.0	64.4	65.0	天気の様子と気温	71.1	73.3	75.5
	生命・地球	65.5	66.7	69.4	電気のはたらき	45.5	51.3	50.2
					動物の体のつくりと運動	74.5	67.5	74.3
					月と星	57.7	59.3	60.7
					物の体積と力	71.9	75.0	76.3
					物の体積と温度	75.7	75.0	77.6
					雨水の行方と地面の様子	66.9	70.0	71.9

＜結果概況＞

○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を下回った。

○領域別正答率は、「物質・エネルギー」「生命・地球」の領域ともに全国平均を下回った。ともに全国平均とは約4ポイントの差がある。

＜課題と対策＞

○問題の内容別に全国平均と比較すると、「動物の体のつくりと運動」の内容において全国平均を上回ったが、他の内容は全国平均を下回った。その中でも「植物の様子と気温とを関連付け、気温の違いについて説明する」問題では正答率が低かった。

また、「電流の大きさが変わることを説明する」問題では、正答率が低く、無解答が16.2%となった。現象とその理由を実験・観察と結びつけて説明する（表現する）学習を重ねて力を付けていきたい。

令和2年度佐伯市学力定着状況調査結果総括＜小学校5年＞

国語				佐伯市	目標値	全国平均		佐伯市	目標値	全国平均	＜結果概況＞ ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を下回った。 ○領域別正答率は、全て全国平均を下回った。
教科 の 正 答 率	全体	62.9	66.9	67.1	問 題 の 内 容 別 正 答 率	話し合いの内容を聞き取る	70.6	66.7	70.8	＜課題と対策＞ ○問題の内容別全国平均と比較すると、全ての内容で、全国平均を下回った。特に「文章を書く」では、10.5ポイント下回った。 学習したことを定着させるための機会や、ポスター、看板等、多様な資料を扱うような活動を、意図的・計画的に設定する必要がある。 また、漢字、表現技法等の確実な習得に向けて、繰り返し学習できる環境を整え、各教科のノートや家庭学習等、様々な場面で指導していく必要がある。さらに、与えられた条件（文字数、構成、段落ごとに指定された内容等）に沿って書く活動や、自分の考えを書く活動を設定し、児童実態に合わせて段階的に指導していく必要がある。	
	基礎	69.1	72.2	72.1		漢字を読む	83.3	81.7	84.1		
	活用	49.0	55.0	55.9		漢字を書く	54.4	61.7	58.7		
領域 別 正 答 率	言葉の特徴や使い方	65.3	67.9	68.7		言葉の学習	60.9	62.0	65.1		
	情報の扱い方	33.0	42.5	37.0		物語の内容を読み取る	60.4	66.7	63.7		
	話すこと・聞くこと	70.6	66.7	70.8		説明文の内容を読み取る	60.4	61.7	62.7		
	書くこと	57.5	69.2	66.4		報告する文章を書く	36.1	45.0	42.0		
	読むこと	60.4	64.2	63.2		文章を書く	68.2	81.3	78.7		

算数				佐伯市	目標値	全国平均
教科 の 正 答 率	全体	59.9	63.2	63.5		
	基礎	66.0	67.9	69.0		
	活用	43.7	50.6	49.1		
領域 別 正 答 率	数と計算	65.3	67.3	68.3		
	図形	60.7	63.6	65.0		
	変化と関係	66.0	66.7	69.8		
	データの活用	15.9	31.7	22.5		

問題の内容別正答率

算数

佐伯市

目標値

全国平均

	佐伯市	目標値	全国平均
整数のなかま分け	67.6	75.0	74.4
小数のかけ算・わり算	63.3	65.4	65.3
分数と小数	65.4	62.5	68.1
分数のたし算・ひき算	74.6	72.5	78.3
合同	61.7	65.0	66.3
図形の角	58.3	57.5	61.3
体積	61.6	67.5	66.8
単位量あたりの大きさ、比例	66.0	66.7	69.8
平均	15.9	31.7	22.5

<結果概況>

○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を下回った。

○領域別正答率は、全て全国平均を下回った。

<課題と対策>

○問題の内容別

に全国平均と比較すると、全ての内容で、全国平均を下回った。最終4問の無解答率が35～54%と、他に比べて特にな高くなっていた。

学習したことを定着させるための機会を、意図的・計画的に設定する必要がある。

また、組み合わせた形の体積を求めたり、合同な三角形を作図したりする内容については、解決の過程を、具体的な操作を通して丁寧に指導する必要がある。さらに、時間を決めて、問題場面を理解し、解決に必要な情報を整理させ、解決方法を考える活動を設定し、児童実態に合わせて段階的に指導していく必要がある。

理科		佐伯市	目標値	全国平均	問題の内容別正答率		佐伯市	目標値	全国平均	＜結果概況＞ ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を下回った。 ○領域別正答率は、全て全国平均を下回った。 ＜課題と対策＞ ○問題の内容別に全国平均と比較すると、全ての内容で、全国平均を下回った。特に「けんぴ鏡の使い方」では、14.5ポイント下回った。、実物の観察や実験等の機会を増やすとともに、児童の生活とも関連させながら、実感を伴った理解へと結びつける工夫が必要である。 また、科学的な言葉の意味を的確に捉え、説明したりまとめたりする活動を、授業の中に意図的に位置づけていく必要がある。
教科の正答率	全体	65.5	68.3	70.9		天気の変化	67.8	70.8	71.9	
	基礎	68.5	70.9	73.5		植物の発芽と成長	55.9	60.6	62.1	
	活用	57.2	61.3	63.8		魚のたんじょう	82.2	76.3	83.3	
領域別正答率	生命・地球	65.5	68.3	70.9		植物の花のつくりと実	65.3	70.0	71.7	
						流れる水のはたらき	67.4	69.2	72.3	
						けんぴ鏡の使い方	58.2	70.0	72.7	

令和2年度佐伯市学力定着状況調査結果総括＜小学校6年＞

国語				佐伯市	目標値	全国平均		佐伯市	目標値	全国平均	＜結果概況＞ ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を下回った。 ○領域別正答率は、「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「読むこと」は全国平均を上回ったが、その他の領域では全国平均を下回った。 ＜課題と対策＞ ○問題の内容別に全国平均と比較すると、「文章を書く」の内容において全国平均と6.8ポイントの差がある。段落の役割を理解したり、事実を基に自分の意見を明確にしたりして文章が書けるよう表現力に育成に係る指導を積み重ねる必要がある。 また、「文と文との接続の関係を問う問題」「情報と情報との関係について理解し、目的に応じて文章を書く」問題の正答率が低くなった。文の構造理解とともに、国語以外の教科においても情報を収集した上で文章化する経験を積ませる必要がある。
教科 の 正 答 率	全体	65.7	66.2	67.1	話し合いの内容を聞き取る	71.0	66.7	68.5			
	基礎	72.9	71.9	74.4	漢字を読む	93.9	88.3	93.0			
	活用	54.2	57.0	55.5	漢字を書く	66.4	66.7	70.5			
	言葉の学習	46.3	50.0	49.0							
領域 別 正 答 率	言葉の特徴や使い	64.8	65.8	67.1	物語の内容を読み取る	75.5	73.3	75.2			
	情報の扱い方	46.9	45.0	45.5	説明文の内容を読み取る	65.2	60.0	63.6			
	話すこと・聞くこと	71.0	66.7	68.5	給食だよりを書く	52.7	52.5	53.1			
	書くこと	60.1	67.5	64.7	文章を書く	63.7	75.0	70.5			
	読むこと	70.4	66.7	69.4							

算数				佐伯市	目標値	全国平均					佐伯市	目標値	全国平均	＜結果概況＞	
教科の正答率	全体	70.1	66.4	68.5	問題の内容別正答率	分数のかけ算・わり算	73.0	69.7	71.6	○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均及び目標値を上回った。					
	基礎	75.1	70.7	72.8		文字と式	64.0	66.7	66.2	○領域別正答率は、全ての領域で全国平均及び目標値を上回った。					
	活用	57.5	55.6	57.4		拡大図と縮図	66.2	61.3	63.1	＜課題と対策＞					
領域別正答率	数と計算	71.7	69.3	70.9		対称な形	67.8	62.5	65.0	○問題の内容別に全国平均と比較すると、「文字と式」の内容において2.2ポイント全国平均に及ばなかったが他の内容においては全国平均を上回った。					
	図形	69.2	63.9	66.9		面積と体積	74.2	68.3	73.2	無解答率も低かったため、着実に力を付け、学習の成果が出ているといえる。					
	変化と関係	58.3	47.5	50.2		比と比の値	58.3	47.5	50.2	しかし、「等しい比についての理解(分数比)」を問う問題、「縮図を使って建物の実際の高さを求め、その求め方を式を使って説明する」問題での正答率が低かった。生活場面と割合を結び付け理解を促し、求める過程を説明する学習活動を重ねる必要がある。					

理科				佐伯市	目標値	全国平均		佐伯市	目標値	全国平均	＜結果概況＞ ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を下回った。 ○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を下回った。 ＜課題と対策＞ ○問題の内容別に全国平均と比較すると、「植物の体のつくりとはたらき」の内容は全国平均を上回ったが、他の内容は全国平均を下回った。 特に「午後4時ごろ満月が見えないことを分析する」問題、「ランタンの上の穴のはたらきを調べるために比較する実験を指摘する」問題での正答率が低かった。現象とその理由を明らかにする活動、実験する過程でその目的や方法を理解する活動を大切にしたい。
教科の正答率	全体	69.8	69.2	71.2	問題の内容別正答率	物の燃え方	59.4	63.8	64.5		
	基礎	73.6	71.1	74.5		動物の体のつくりとはたらき	72.8	71.3	73.5		
	活用	63.1	65.9	65.5		植物のつくりとはたらき	75.0	71.0	74.9		
	物質・エネルギー	59.4	63.8	64.5		生物と環境	72.9	68.3	74.4		
生命・地球	71.4	70.0	72.2	月と太陽		57.6	65.0	60.2			
				大地のつくりと変化		74.7	71.7	75.2			

令和2年度佐伯市学力定着状況調査結果総括＜中学校1年＞

国語				問題の内容 別正答率		佐伯市	目標値	全国平均	＜結果概況＞ ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均及び目標値を上回った。 ○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を上回った。 ＜課題と対策＞ ○問題の内容別に全国平均と比較すると、「漢字を読む」で、全国平均を下回った。特に、「第1学年で学習した漢字の読み」については、4問中3問が全国平均正答率を下回った。教科書を読むことや読書を通して、漢字の読みの習熟と応用を図ることが大切である。 また、「説明文の内容を読み取る」については、「文章の展開に即して内容をとらえる」問題や、「文章の展開をとらえてその内容を整理する」問題の正答率が全国平均を下回った。「何が書かれているか」を生徒自身が意識して文章を読み、必要な情報を整理することができるように指導を工夫する必要がある。
教科の正答率	全体	75.9	68.2	71.3		佐伯市	目標値	全国平均	
	基礎	80.2	71.7	74.7	話し合いの内容を聞き取る	81.5	76.3	78.6	
	活用	61.2	56.4	59.4	漢字を読む	86.1	81.3	87.1	
領域別正答率	話すこと・聞くこと	81.5	76.3	78.6	漢字を書く	71.7	67.5	70.1	
	書くこと	71.0	60.0	60.7	文法・語句に関する知識	82.8	68.8	74.3	
	読むこと	70.8	65.7	69.0	説明文の内容を読み取る	70.9	66.7	70.6	
	伝統的な言語文化	80.2	72.5	77.2	文学作品の内容を読み取る	70.6	65.0	67.8	
					インタビューをもとに新聞を書く	51.2	50.0	49.5	
					作文	82.9	66.0	67.4	
社会				問題の内容 別正答率		佐伯市	目標値	全国平均	＜結果概況＞ ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を上回った。 ○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を上回った。 ＜課題と対策＞ ○問題の内容別に全国平均と比較すると、すべての内容で全国平均を上回った。問題別では、「世界各地の人々の環境に関する資料をもとに、自然環境の特色を考察させる」問題で正答率に4.6ポイント差があった。授業の中で、複数の資料から情報を取り出し、関連付けて問題を見つけたり、その解決に向けて考えたりする場面を意図的に設定する必要がある。 また、「聖徳太子」にかかわりの深い資料を選択する問題で、正答率に7.7ポイントの差があった。歴史分野の学習において、生徒自身が資料から内容を読み取ったり、年表にまとめたりする学習活動を取り入れていく必要がある。
教科の正答率	全体	59.9	54.3	54.5	地球の姿をとらえる	72.9	66.7	67.4	
	基礎	64.8	58.5	58.6	世界各地の人々の生活と環境	48.9	48.3	47.3	
	活用	41.1	38.3	38.9	世界の諸地域	58.2	48.8	47.4	
領域別正答率	世界の地域構成	72.9	66.7	67.4	古墳時代まで	71.4	65.0	66.8	
	人々の生活と環境	48.9	48.3	47.3	飛鳥時代～平安時代	53.2	48.9	48.6	
	世界の諸地域	58.2	48.8	47.4	日本の地域構成	53.4	46.7	47.4	
	古代までの日本	61.2	55.9	56.5					
	日本の地域構成	53.4	46.7	47.4					
数学				問題の内容 別正答率		佐伯市	目標値	全国平均	＜結果概況＞ ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を上回ったが、活用は目標値を下回った。 ○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を上回った。 ＜課題と対策＞ ○問題の内容別に全国平均と比較すると、すべての問題で全国平均を上回った。しかし、「一次方程式」は目標値を下回っていた。特に「文章問題を解くための方程式を立式する」問題で目標値と20.9ポイントの差があり、無解答率も17.9%と高い。具体的な事象の中にある数量関係を見いだす力や文字を用いて数量の関係を式に表現する力を育成するため、具体的な事象を取り上げて、数量の間の関係や法則を、数学的に解釈し考察する場面の設定し、事象の中の数量の間の関係や法則を、文字を用いて表現させる指導を充実させていく必要がある。
教科の正答率	全体	60.7	57.6	54.8	正の数・負の数	68.8	65.8	66.6	
	知識	69.6	64.7	63.8	文字式	63.4	57.9	57.5	
	活用	39.4	40.6	33.5	1次方程式	57.1	57.9	52.2	
領域別正答率	数と式	62.8	60.3	58.4	比例・反比例	54.4	50.0	44.6	
	関数	54.4	50.0	44.6					
理科				問題の内容 別正答率	作文	佐伯市	目標値	全国平均	＜結果概況＞ ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を上回った。 ○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を上回った。 ＜課題と対策＞ ○問題の内容別に見ると、7つの内容の内6つは目標値、全国平均値を上回ったが、「光の性質」については、目標値を上回ることができなかった。特に、物体より大きな像ができるときの、凸レンズの焦点距離と物体と凸レンズとの距離の関係を説明する問題の正答率が低く、無解答率も17.3%であった。 また、蒸留器具に銅を用いている理由を説明する記述問題も目標値を下回っていた。実験結果から考察を丁寧に行い、文章で記述したり説明したりする活動を行うことや、実験や観察の技能定着に向けた根拠や理由を明確にした指導の充実を図る必要がある。
教科の正答率	全体	64.6	59.8	59.6	植物の分類	69.5	62.5	63.2	
	基礎	69.9	63.4	65.2	動物の分類	79.6	68.8	72.1	
	活用	52.1	51.3	46.2	身の回りの物質とその性質	56.5	55.0	54.9	
領域別正答率	エネルギー	42.6	50.0	41.6	気体の性質	70.4	65.0	64.4	
	粒子	61.8	57.5	57.5	水溶液の性質	54.6	48.3	49.9	
	生命	72.9	64.6	66.1	物質の状態変化	65.7	61.7	60.7	
					光の性質	42.6	50.0	41.6	
英語				問題の内容 別正答率		佐伯市	目標値	全国平均	＜結果概要＞ ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を上回った。 ○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を上回った。 ＜課題と対策＞ ○問題の内容別に全国平均と比較すると、内容別正答率は全ての内容で全国平均を上回った。 しかし、「長文を読み取り」の、内容を踏まえて感想を述べる問題と、「場面に応じて書く英作文」の対話の流れに合った英文を書く問題では、無解答率が20%を越えた。長文の要点を把握し、自分の感想を持つ活動を意図的・計画的に行うとともに、対話練習から書く活動につなげる活動等、複数の領域を関連づける総合的な指導を行う必要がある。
教科の正答率	全体	68.5	61.3	62.6	リスニング(内容理解)	89.1	81.7	86.3	
	基礎	74.1	66.5	67.0	リスニング(対話文の応答)	68.1	57.5	55.7	
	活用	58.3	51.8	54.5	リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	94.3	85.0	91.9	
領域別正答率	聞くこと	79.2	70.0	71.7	語形・語法の知識・理解	65.1	60.0	59.0	
	読むこと	63.7	58.9	59.2	語彙の知識・理解	78.7	75.0	75.8	
	書くこと	66.5	57.2	59.8	さまざまな英文の読み取り	55.5	52.5	51.7	
					長文の読み取り	62.9	56.3	58.6	
					単語の並べ替えによる英作文	67.4	57.5	55.9	
					場面に応じて書く英作文	38.3	35.0	35.7	
					3文以上の英作文	84.1	71.7	81.1	

令和2年度佐伯市学力定着状況調査結果総括＜中学校2年＞

国語						佐伯市	目標値	全国平均	問題の内容 別正答率	＜結果概況＞ ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を上回った。 ○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を上回った。 ＜課題と対策＞ ○問題の内容別に全国平均と比較すると、正答率は全ての内容で全国平均を上回っている。 しかし、「話し合いの内容を聞き取る」内容の「話し手の意見に対して自分の考えを持ち、質問をする」問題と、「文法・語句に関する知識」の内容の「品詞の分類について」の問題が目標値を下回っている。話し手の意見の内容を整理して要旨をとらえ、自分の考えをまとめて、質問につなげる活動を日常的に行うとともに、品詞を整理して意図的・計画的に習得を目指す必要がある。
教科の正答率	全体	74.3	67.4	70.4	話し合いの内容を聞き取る	74.7	70.0	74.7		
	基礎	77.4	69.6	72.6	漢字を読む	95.3	87.5	94.8		
	活用	62.8	59.3	62.4	漢字を書く	83.1	78.8	82.8		
領域別正答率	話すこと・聞くこと	68.4	63.6	67.8	文法・語句に関する知識	67.8	63.0	63.6		
	書くこと	80.0	62.0	63.5	説明文の内容を読み取る	67.4	61.3	63.6		
	読むこと	65.1	61.3	62.9	文学作品の内容を読み取る	62.9	61.3	62.1		
	伝統的な言語文化	81.0	75.4	79.1	音楽祭の演出について話し合う	59.9	55.0	58.6		
					作文	80.0	62.0	63.5		
社会						佐伯市	目標値	全国平均	問題の内容 別正答率	＜結果概況＞ ○教科の正答率は、基礎は全国平均を上回ったが、活用は全国平均を下回った。 ○領域別正答率は、すべての領域で全国平均を上回った。 ＜課題と対策＞ ○問題の内容別に全国平均と比較すると、「江戸時代」の内容において全国平均を下回り、特に「江戸時代の外交」についての理解を問う問題では全国平均を7.2ポイント下回った。歴史的分野の学習において、歴史的現象の因果関係を理解させる指導が必要である。 また、「日本の諸地域」では、「本州、四国間の結びつきに関する複数の資料を読み取り、結び付きの変化によって生じる問題点を考え、表現する」問題で全国平均を3.7ポイント下回った。複数の資料から情報を取り出し、比較したり、傾向を抽出したりして、条件にそって記述する学習場面を意図的に設定していく必要がある。
教科の正答率	全体	57.5	55.3	55.7	世界と比べた日本の地域的特色	70.1	65.8	68.1		
	基礎	58.9	57.1	56.5	日本の諸地域	57.6	55.7	56.1		
	活用	52.1	48.3	52.9	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	55.7	54.3	50.4		
領域別正答率	日本の地域的特色	70.1	65.8	68.1	江戸時代	51.1	49.5	51.8		
	日本の諸地域	57.6	55.7	56.1						
	近世の日本	53.0	51.5	51.2						
数学						佐伯市	目標値	全国平均	問題の内容 別正答率	＜結果概況＞ ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を上回った。 ○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を上回った。 ＜課題と対策＞ ○問題の内容別に全国平均と比較すると、正答率は全ての内容で全国平均を上回っている。 しかし、「1次関数」の、座標軸場に頂点をもつ三角形の面積を求める問題や、グラフを用いて説明をする問題の無解答率が高い。グラフの読み取りについての指導を行うとともに、グラフと式の関係を結びつける活動を意図的・計画的に行う必要がある。
教科の正答率	全体	63.3	58.0	57.9	式の計算	63.4	58.8	56.8		
	基礎	67.2	61.8	62.4	連立方程式	69.3	60.0	61.0		
	活用	52.6	47.5	45.4	1次関数	58.5	54.5	53.6		
領域別正答率	数と式	65.9	59.3	58.6	図形の性質	72.1	68.8	71.5		
	図形	66.6	62.0	65.3	証明	44.8	35.0	40.4		
	関数	58.5	54.5	53.6						
理科						佐伯市	目標値	全国平均	問題の内容 別正答率	＜結果概況＞ ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を上回った。 ○領域別正答率は、全ての領域で全国平均値を上回った。 ＜課題と対策＞ ○問題の内容別に見ると、7つの内容の内5つは目標値、全国平均値を上回ったが、「化学変化」と「化学変化と物質の質量」については、目標値を上回ることができなかった。特に、加熱後の物質の質量をグラフに表すこととマグネシウムの酸化を化学反応式に表す問題において、大きく目標値を下回っていた。また、化学変化の実験結果に関する理由の説明や消化酵素のはたらきに関する実験の構想における記述問題では、無解答率が高かった(12.4%、15.3%)。実験結果から考察を丁寧に行い、文章で記述したり説明したりすることや、仮説を基にした実験の構想を行うなどの活動を充実させていく必要がある。
教科の正答率	全体	62.6	59.3	59.0	物質の成り立ち	66.7	55.0	57.8		
	基礎	60.8	59.3	58.1	化学変化	61.7	61.7	61.8		
	活用	69.0	59.2	62.4	化学変化と物質の質量	41.3	51.7	37.9		
領域別正答率	エネルギー	65.3	58.3	57.7	生物と細胞	88.4	77.5	80.4		
	粒子	57.8	57.5	54.8	動物のからだのつくりとはたらき	51.7	48.3	48.4		
	生命	66.8	61.3	63.6	動物の分類	78.7	72.5	78.1		
					電流の性質	65.3	58.3	57.7		
英語						佐伯市	目標値	全国平均	問題の内容 別正答率	＜結果概要＞ ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を上回った。 ○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を上回った。 ＜課題と対策＞ ○問題の内容別に全国平均と比較すると、正答率は全ての内容で、全国平均を上回った。 しかし、「場面に応じて書く英作文」の対話の流れに合った英文を書く英作文は、無解答率が高かった。また、対話の流れに合った英文(whatを使ってしていたことを尋ねる)問題の正答率が目標値を9.9ポイント下回った。対話練習から書く活動につなげる活動等、複数の領域を関連づける総合的な指導を行う必要がある。
教科の正答率	全体	57.9	55.0	54.3	リスニング(内容理解)	67.9	63.3	64.0		
	基礎	61.2	59.3	58.8	リスニング(対話文の応答)	69.4	61.3	63.3		
	活用	52.4	47.9	46.8	リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	73.1	72.5	75.6		
領域別正答率	聞くこと	69.7	64.4	66.3	語形・語法の知識・理解	54.2	58.8	55.3		
	読むこと	55.7	55.4	53.8	語彙の知識・理解	57.5	60.0	62.7		
	書くこと	49.4	45.0	42.9	さまざまな英文の読み取り	52.3	48.8	46.5		
					長文の読み取り	59.7	56.3	55.4		
					単語の並べ替えによる英作文	46.5	47.5	43.9		
					場面に応じて書く英作文	22.4	27.5	16.7		
					3文以上の英作文	71.2	53.3	59.2		